

U.K. looks at changing regulations to allow gene editing to boost farming

概要 英国は EU を離脱したため、農業におけるゲノムの編集を許可するために規制の変更を検討している。もともと EU 遺伝子組み換えの作物は大部分が禁止されていた。しかし、ゲノムの編集を許可することによって、農薬の使用量を減らすことができ環境にメリットがあったり、害虫や病気、異常気象などに耐性を持った作物を生産できる可能性が上昇する。そのため、このゲノム編集はイギリスの環境や農業に利益をもたらし、net-zero emissions の達成に重要な役割を果たすかもしれない。

語彙リスト

- ・ Rural Affairs→農村問題
- ・ coherent →首尾一貫した
- ・ be hailed by～→～によって歓迎される
- ・ ethical consequences→倫理的結果
- ・ flawed and stifling→欠陥と阻害
- ・ pest→害虫
- ・ precision-breeding→精密育種（精密繁殖）
- ・ lobby→働きかけて

その他

「ゲノム編集食品には『オフターゲット』というリスクがあります。食べ物の毒性やアレルギー成分が増えてしまわないか懸念しています。」

オフターゲットとは、ねらった遺伝子を切るはずのゲノム編集のハサミが別の遺伝子を切ってしまうことです。これが起きるとどうなるのか？例にあげたのはジャガイモです。日光にさらされると、ジャガイモは毒を生成します。緑色に変色することがその印です。もし、オフターゲットによって緑色にする遺伝子が切断されてしまったら…。毒が生成されていても緑色にならず、気づかずに食べてしまう恐れがあるということです。

参考資料

[解禁！“ゲノム編集食品” ～食卓への影響は？～ - NHK クローズアップ現代+](https://www.nhk.or.jp/gendai/articles/4331/)

(<https://www.nhk.or.jp/gendai/articles/4331/>)

最終閲覧日 2021.5.19